

# 我が校の学ぶ力向上策

甲賀市立小原小学校

## 全国学力学習状況調査の結果より

### 明らかになった本校の課題

- 平成 28 年度は、全ての科目において、平均正答率が全国及び県平均を上回った。
- (自校採点の結果)平成 29 年度は特に国算の活用問題及び書く力に大きな課題が見られた
- 質問紙調査から、学習習慣を身に付け、粘り強く学習に取り組む必要が伺えた。

## 学力向上のための継続した取組と

### 改善してきた点

- 朝の 15 分間モジュールでの学習活動はスムーズで、日課の中に定着してきた。
- 協働的な学びのスタイルを採り入れた授業改善に努めてきた。

## 課題改善の具体的方策

### 1 : 日々行うアクティブ・ラーニングへの授業改善

- 校内研究を中心に主体的・対話的な学びが実現するための日々の実践に取り組む。その際、教科等に求められる「つきたい力」及び「教科等でつきたい資質能力」の明確化と、こうか授業術の学習過程を意識する。特に「考えつなげて話し合い」の部分での充実を図る。
- ブロック内の小中連携事業と連動させ、9年間を見据えたより良い授業のあり方を実践的に探る。

### 2 : 全校で行う学ぶ力の土台作り

- 主体的・協働的な学びの基となる「聞く力」「話す力」「書く力」といった言語力を、各教科等を通じて、また全校体制で育成する。
- 「授業のユニバーサルデザイン化」を全校体制で進め、「どの子にとっても分かりやすい授業展開」についての研修を進める。
- 「いつも手元に読みかけの本を」を合い言葉に、読書推進を具体化する。
  - ・暗誦集の活用
  - ・学校図書館のリニューアル事業
  - ・読み聞かせや本バスの活用

### 3 : 連携して行う家庭学習の充実

- 各家庭での協力を得るため、PTA の集会や通信を通じて家庭学習の大切さについての啓発を行う。
- 授業と結びついた家庭学習を推進し、予習も含めた自主的な学び習慣を作る。

## 策定の時期と今後の改定予定

- 1 学期 : ・全国学力学習状況調査及び 4・5 年生の学力テストの結果を分析し、1 学期以降の取組の重点化を図る。
  - ・授業のユニバーサルデザイン化の重点化と検証をする時間を確保する。
- 2 学期 : ・主体的・対話的な授業への改善を目指した授業研究を推進する。